

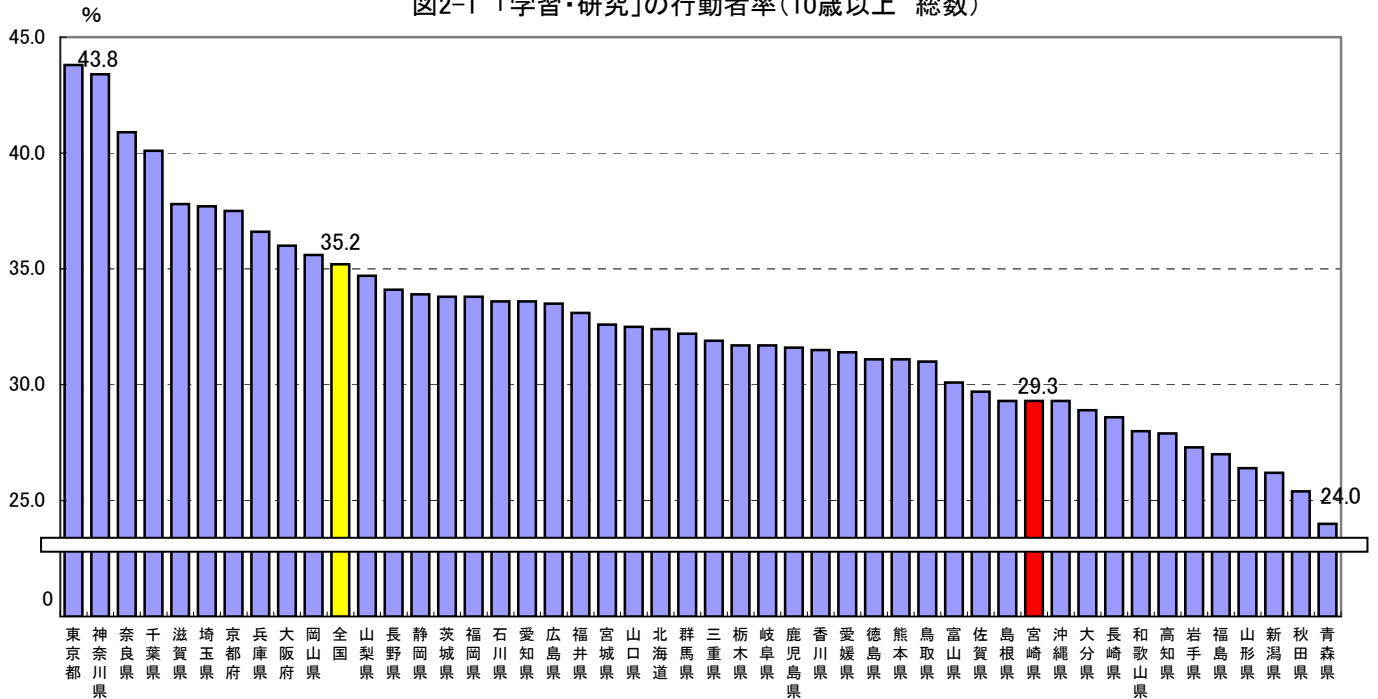
2 学習・研究

～1年間に「学習・研究」を行った人は約29万5千人で、行動者率は29.3%～

過去1年間に本県の10歳以上で「学習・研究」を行った人は約29万5千人で、行動者率は29.3%となっています。これは全国平均の35.2%に比べ5.9ポイント低く、全国順位でみると島根県、沖縄県と並んで第35位となっています。

男女別にみると、行動者数は男性が約13万6千人、女性が約15万9千人で、行動者率はそれぞれ29.0%、29.6%となっています。（図2-1）

図2-1 「学習・研究」の行動者率(10歳以上 総数)

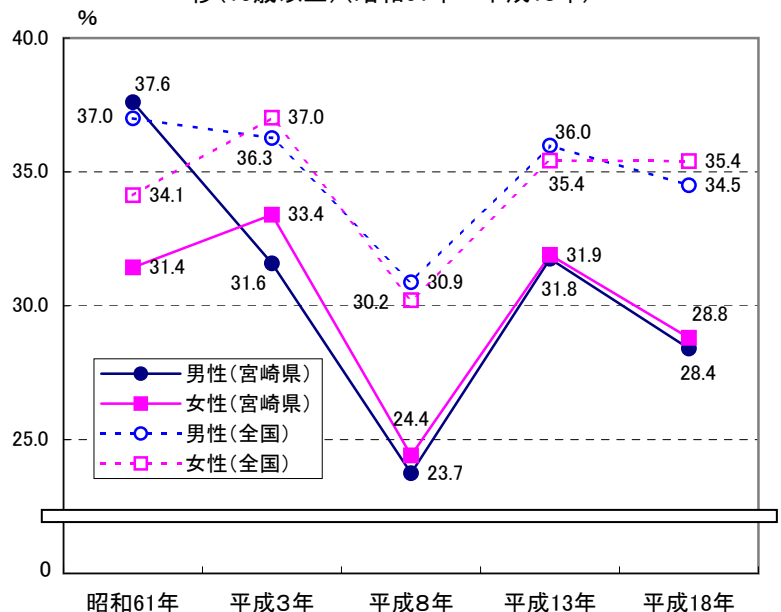


～行動者率に違いはあるものの、推移は全国とさほど変わらず～

本県の15歳以上（推定94万9千人。以下同じ。）の「学習・研究」における行動者率の推移を男女別にみると、昭和61年は男性37.6%、女性31.4%と男性の方が6.2ポイント上回っていましたが、平成3年は逆に女性の方が男性を上回りました。以後、男女の差はあまりなくほぼ同水準で推移しています。

また、本県と全国を比較してみると、昭和61年を除き、本県は、男女とも常に約5ポイント前後全国平均を下回って推移していますが、増減の傾向は同じとなっています。（図2-2）

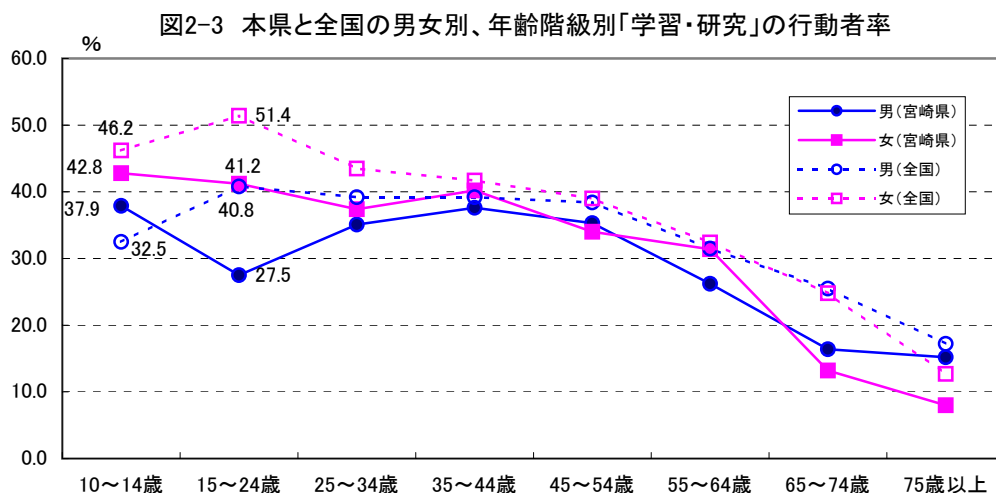
図2-2 本県と全国の男女別「学習・研究」行動者率の推移(15歳以上)(昭和61年～平成18年)



～15～24歳で低い行動者率～

本県の男女別、年齢別に行動者率をみると、若い世代では、女性の方が男性を上回っており、特に15～24歳では、女性（41.2％）と男性（27.5％）差は13.7ポイントとなっています。一方、高齢者層になると逆に男性が女性を上回り、75歳以上では男性（15.2％）と女性（8.0％）の差は7.2ポイントとなっています。

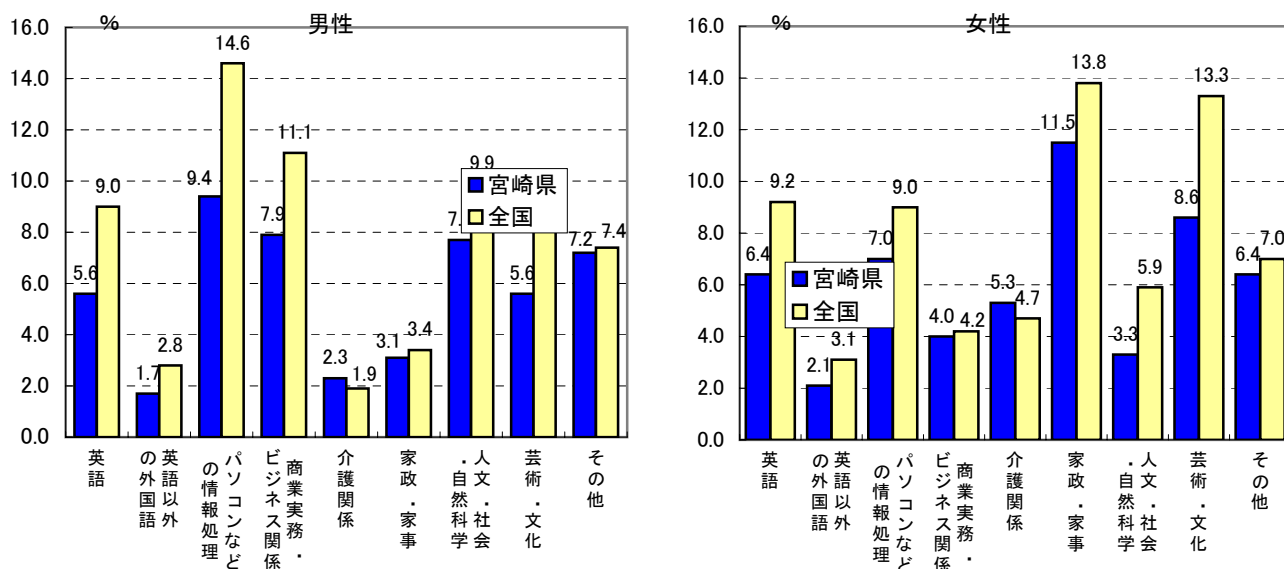
また、本県と全国を比べてみると、10～14歳では、男性は全国平均より高くなっていますが、それ以降の年齢階級ではすべて全国より低くなっています。また、全国は男女とも15～24歳の行動者率が最も高い（男性40.8％、女性51.4％）のに対し、本県の15～24歳は、男女とも10～14歳よりも低くなっています。したがって、15～24歳の全国と本県の差は、男性が13.3ポイント、女性が10.2ポイントとなっており、他の年齢階級と比べ大きくなっています。（図2-3）



～男女とも「介護関係」の行動者率が全国を上回る～

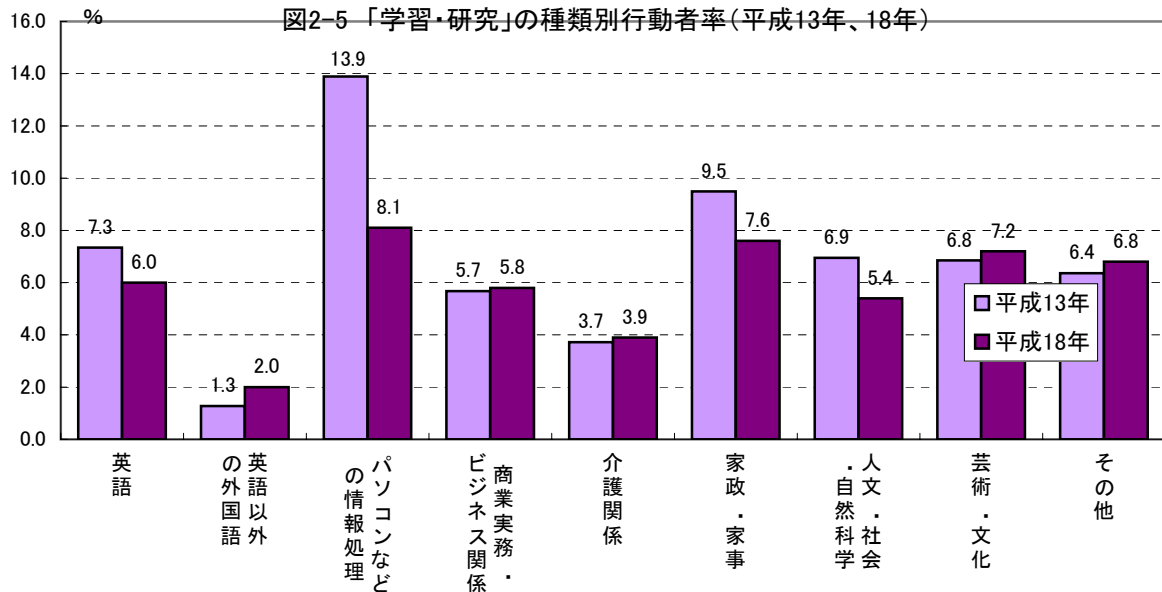
各種別本県の行動者率をみると、男性は「パソコンなどの情報処理」が最も高く9.4％、次いで「商業実務・ビジネス関係」の7.9％、「人文・社会・自然科学（歴史・経済・数学・生物など）」（以下「人文・社会・自然科学」という。）の7.7％の順となっています。一方、女性は、「家政・家事（料理・裁縫・家庭経営など）」（以下「家政・家事」という。）が最も高く11.5％、次いで「芸術・文化」の8.6％、「パソコンなどの情報処理」の7.0％の順となっています。なお、全国と比較すると、男女とも、唯一「介護関係」が全国を上回っていますが、それ以外はすべて下回っており、特に差が大きいのは、男性が「パソコンなどの情報処理」（5.2ポイント差）、女性が「芸術・文化」（4.7ポイント差）となっています。（図2-4）

図2-4 本県と全国の男女別、種類別「学習・研究」の行動者率



～「パソコンなどの情報処理」の行動者率の低下が顕著～

「学習・研究」の種類別に平成13年と比べてみると、「英語以外の外国語」が1.3%から2.0%へ、「芸術・文化」が6.8%から7.2%へそれぞれ増加しているのに対し、「パソコンなどの情報処理」が13.9%から8.1%へ、「家政・家事」が9.5%から7.6%へ、「人文・社会・自然科学」が6.9%から5.4%と低下しています。特に「パソコンなどの情報処理」は5.8ポイントと他に比べ大きく低下しています。（図2-5）



～語学関係の行動者率は、男性は「無業者」の方が高く、女性は「有業者」の方が高い～

本県の15歳以上について、種類別行動者率を有業者・無業者別にみると、有業者より無業者の方が高い種類は、男性が「英語」（有業者3.8% 無業者6.7%）、「英語以外の外国語」（有業者1.6% 無業者2.3%）、「家政・家事」（有業者2.4% 無業者5.7%）となっており、女性が「家政・家事」（有業者11.9% 無業者12.1%）、「芸術・文化」（有業者8.4% 無業者8.7%）となっています。（図2-6）

